

2018年3月期

第2四半期 決算説明資料



日本アンテナ株式会社

証券コード 6930

2017年11月2日

目次

* 会社概要	1
* 2018年3月期 第2四半期連結決算ハイライト	2
* 第2四半期連結業績概要	3
* 売上高構成比(連結)	4
* 連結財務状況	5
* キャッシュ・フローの状況(連結)	6
* 2018年3月期 連結業績見通し	7
* 連結業績予想	8
* 売上高構成比(連結計画)	9
* 第2四半期個別業績概要	10
* 個別業績予想	11

会社概要

- ・ 本 社 東京都荒川区西尾久七丁目49番8号
- ・ 設 立 1953年11月
- ・ J A S D A Q 上 場 (現東証JASDAQ市場) 2004年12月
(1990年9月 (社)日本証券業協会に株式を店頭登録する)
- ・ 資 本 金 4,673百万円
- ・ 発 行 済 株 式 数 14,300千株：時価総額8,794百万円(2017年9月30日時点)
- ・ 従 業 員 個別：380人(グループ：400人) (2017年9月30日時点)
- ・ 事 業 内 容 テレビ受信用・通信用等各種アンテナ及び映像通信用電子機器の製造販売、電気通信工事並びにこれに付帯する事業
- ・ 事 業 所 <支 店>横浜、名古屋、大阪、福岡
<営 業 所>札幌、盛岡、仙台、宇都宮、高崎、さいたま、千葉、北陸、長野
静岡、広島、高松、熊本、鹿児島
<出 張 所>水戸、多摩、浜松、北九州
<工 場>蕨、川里
<物流拠点>NIPPON ANTENNA LOGISTICS
- ・ 関 係 会 社 (連結子会社)
<国 内>石巻アテックス株式会社(製品製造、販売)
<海 外>上海日安天線有限公司(製品開発、販売)



◎売上高は6,111百万円（前年同期比2.4%減）

○送受信用製品製造事業

- ・ 放送関連機器は、テレビ受信用アンテナ等の家庭用機器が伸び悩んだことや、前期好調であった事業者向け機器販売の反動減等により、前年同期比減
- ・ 通信用アンテナは、官需向けデジタル無線用アンテナは前年同期比で減少したが、通信事業者向け基地局アンテナが堅調に推移したため、前年同期比増

○工事事業

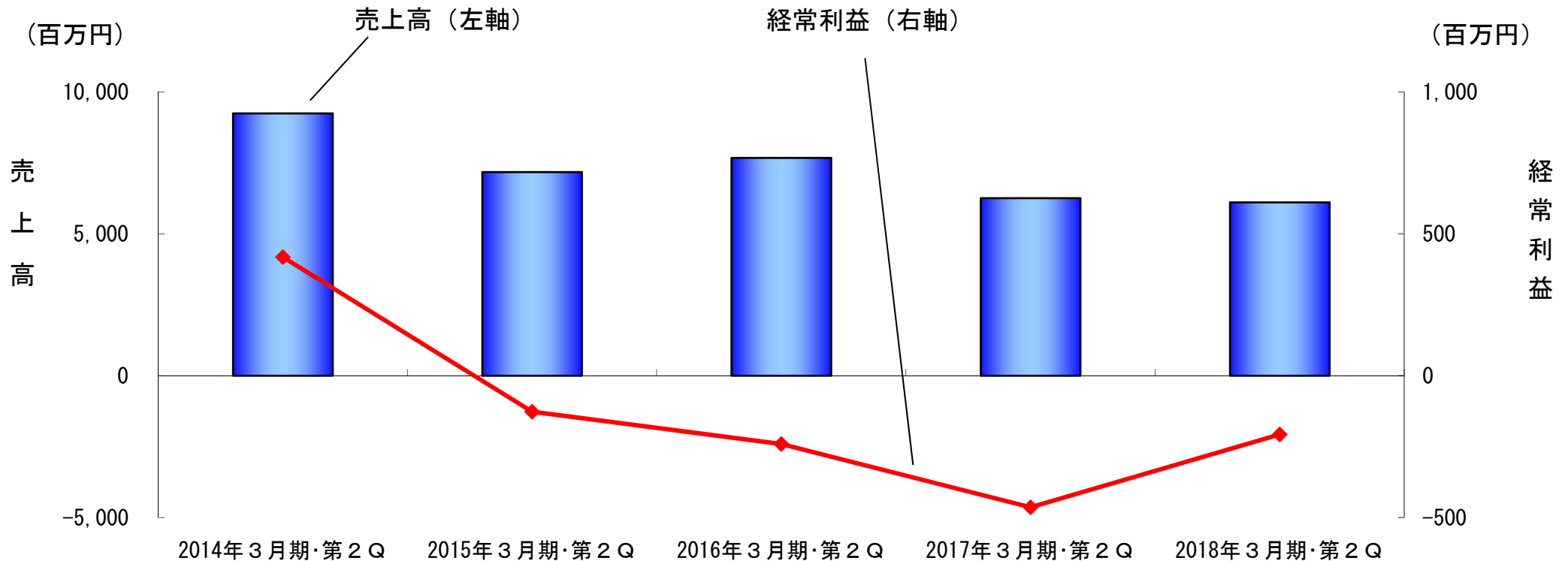
- ・ 電気工事やアンテナ対策工事が堅調を維持しているが、共同受信工事が前期比で減少したこと等から、前年同期比減

◎四半期純損失は224百万円（前年同期は349百万円の四半期純損失）

第2四半期 連結業績概要

(単位：百万円)

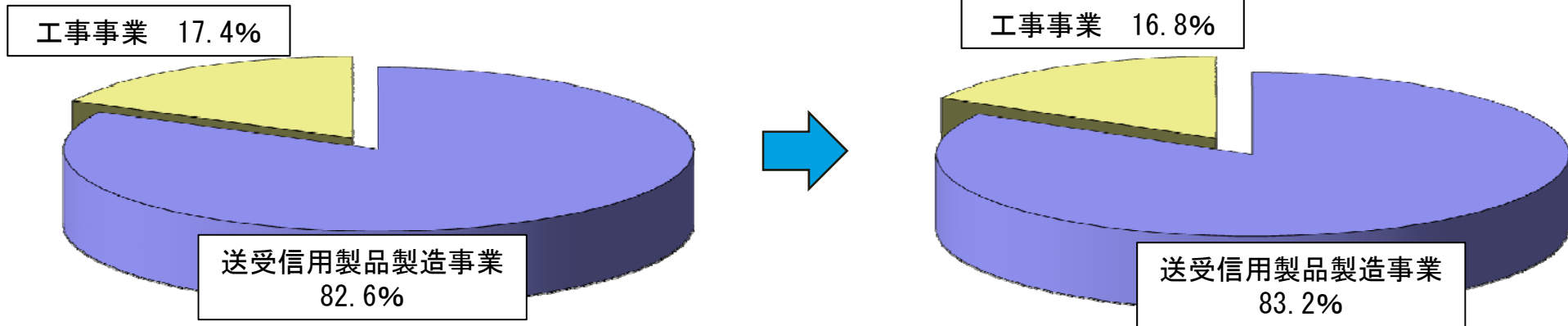
	2017年3月期・第2四半期		2018年3月期・第2四半期		増減額	増減率
		利益率		利益率		
売上高	6,259	-	6,111	-	▲148	▲2.4%
営業利益	▲426	-	▲216	-	209	-
経常利益	▲464	-	▲207	-	257	-
四半期純利益	▲349	-	▲224	-	124	-



売上高構成比（連結）

2017年3月期 第2四半期

2018年3月期 第2四半期



(単位：百万円)

	2017年3月期・第2四半期		2018年3月期・第2四半期		増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
送受信用製品製造事業	5,169	82.6%	5,087	83.2%	▲81	▲1.6%
工事事業	1,090	17.4%	1,023	16.8%	▲66	▲6.1%
合計	6,259	-	6,111	-	▲148	▲2.4%

連結財務状況

(単位：百万円)

		2017年3月期・期末		2018年3月期・第2四半期		増減額
		金額	構成比	金額	構成比	
資産の部	流動資産	19,672	79.7%	18,288	78.5%	▲1,383
	現金及び預金	12,857		11,994		▲863
	受取手形・売掛金	4,203		3,313		▲890
	たな卸資産	1,944		2,225		281
	その他流動資産	666		754		88
	固定資産	5,020	20.3%	5,015	21.5%	▲4
	有形固定資産	3,021		3,000		▲21
	無形固定資産	73		94		21
	投資その他の資産	1,925		1,920		▲4
資産合計		24,692	100.0%	23,304	100.0%	▲1,388
負債の部	流動負債	3,456	14.0%	2,586	11.1%	▲870
	支払手形・買掛金	1,651		1,535		▲116
	賞与引当金	236		211		▲24
	工事未払金	429		145		▲284
	未払法人税等	49		49		0
	その他流動負債	1,088		643		▲444
	固定負債	1,269	5.1%	1,224	5.3%	▲45
	退職給付に係る負債	956		879		▲76
	その他固定負債	313		344		31
	負債合計		4,726	19.1%	3,810	16.4%
純資産の部	株主資本	19,629	79.5%	19,141	82.1%	▲487
	資本金	4,673		4,673		-
	資本剰余金	6,318		6,318		-
	利益剰余金	9,882		9,395		▲487
	自己株式	▲1,246		▲1,246		0
	その他の包括利益累計額	337	1.4%	351	1.5%	14
	その他有価証券評価差額金	288		292		3
	為替換算調整勘定	30		46		15
	退職給付に係る調整累計額	18		13		▲4
純資産合計		19,966	80.9%	19,493	83.6%	▲473
負債・純資産合計		24,692	100.0%	23,304	100.0%	▲1,388

キャッシュ・フローの状況（連結）

（単位：百万円）

	2017年3月期・第2四半期	2018年3月期・第2四半期	増加額
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲0	▲498	▲497
税金等調整前四半期純損失	▲467	▲204	
減価償却費	128	90	
賞与引当金の増減額（▲は減少）	▲8	▲24	
退職給付に係る負債の増減額（▲は減少）	▲4	▲83	
売上債権の増減額（▲は増加）	1,603	953	
たな卸資産の増減額（▲は増加）	▲44	▲280	
仕入債務の増減額（▲は減少）	▲862	▲406	
利息及び配当金の受取額	16	25	
法人税等の支払額	▲63	▲22	
事業構造改善費用の支払額	-	▲513	
その他	▲283	▲9	
投資活動によるキャッシュ・フロー	542	▲101	▲644
定期預金の預入・払戻による支出・収入	700	0	
有価証券の取得・償還・売却による支出・収入	▲101	▲70	
有形及び無形固定資産の取得・売却による支出・収入	▲44	▲38	
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲327	▲267	60
自己株式の取得による支出	▲56	0	
配当金の支払額	▲263	▲261	
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲46	3	49
現金及び現金同等物の増減額（▲は減少）	168	▲863	▲1,031
現金及び現金同等物の期首残高	12,651	12,857	206
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,820	11,994	▲825

※ 営業活動、投資活動、財務活動のそれぞれのキャッシュ・フローの内訳は主な項目を表記

◎売上高は14,300百万円を予想

○送受信用製品製造事業

- ・放送関連機器は、CATV事業者向けの製品販売は引き続き堅調を見込んでいる
家庭用のテレビ関連機器も、販路拡大や積極的な新製品の市場への投入を計画
- ・通信用アンテナは、基地局アンテナの伸びを見込んでおり、官需向け販売も回復基調にあると考えられる

○工事事業

- ・テレビ共聴設備関連工事が引き続き堅調に推移すると予想

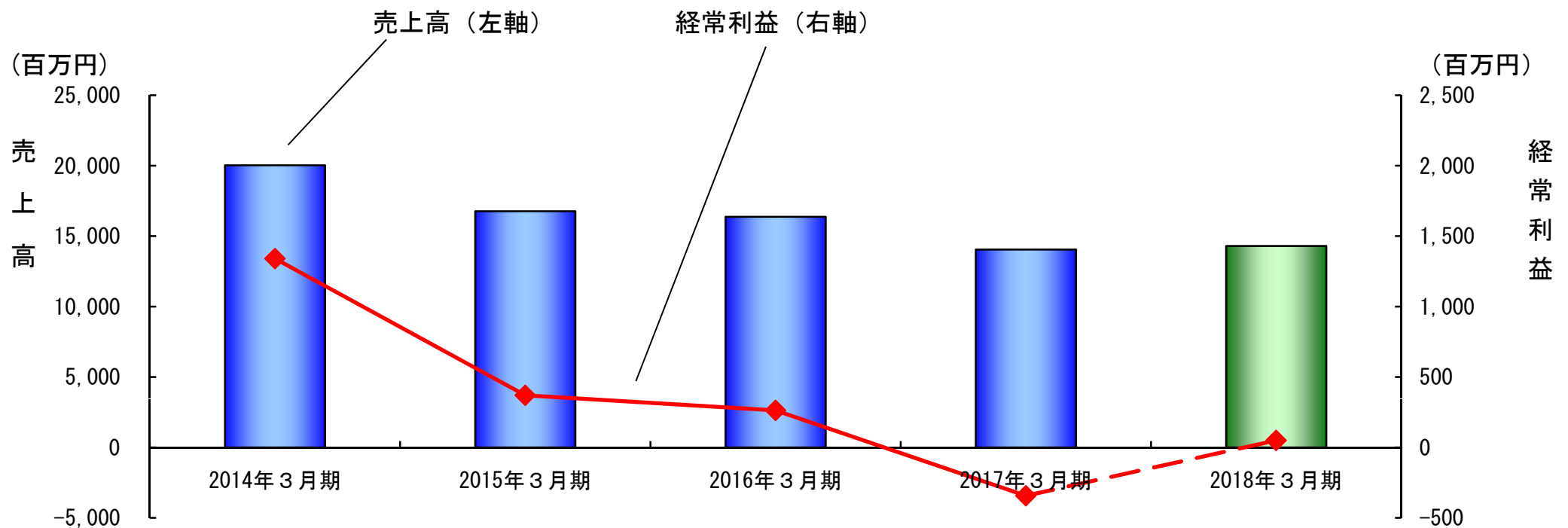
◎当期純利益は10百万円を予想

第3四半期以降、業績は段階的に回復するものと想定するが、
第2四半期累計期間での落ち込みをカバーするまでには至らないと考えられる

連結業績予想

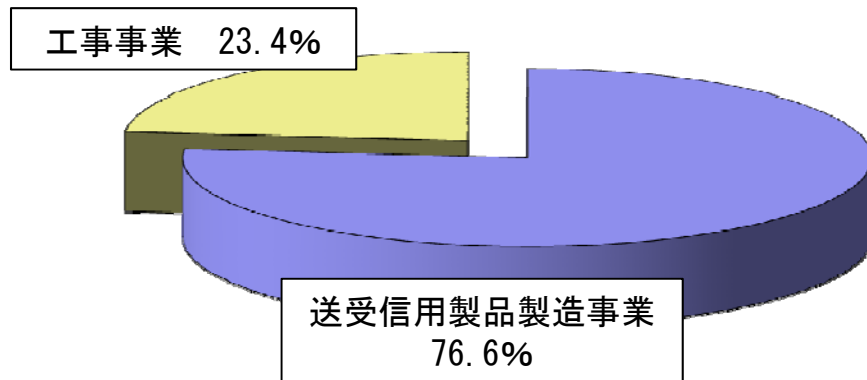
(単位：百万円)

	2017年3月期		2018年3月期計画		増減額	増減率
		利益率		利益率		
売上高	14,051	-	14,300	-	248	1.8%
営業利益	▲292	▲2.1%	70	0.5%	362	▲123.9%
経常利益	▲343	▲2.4%	50	0.3%	393	▲114.5%
当期純利益	▲1,474	▲10.5%	10	0.1%	1,484	▲100.7%

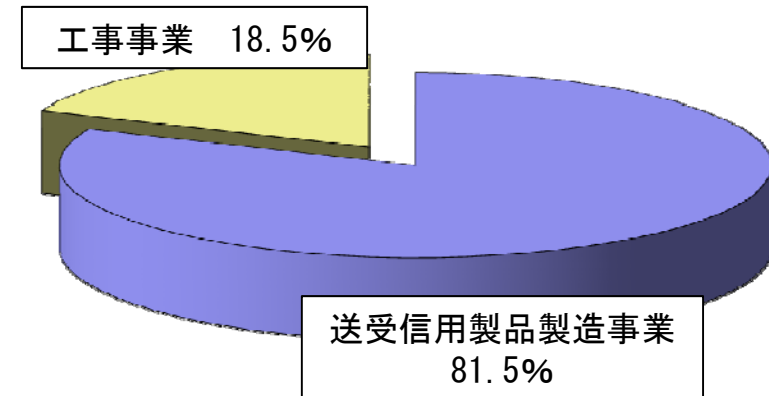


売上高構成比（連結計画）

2017年3月期



2018年3月期計画



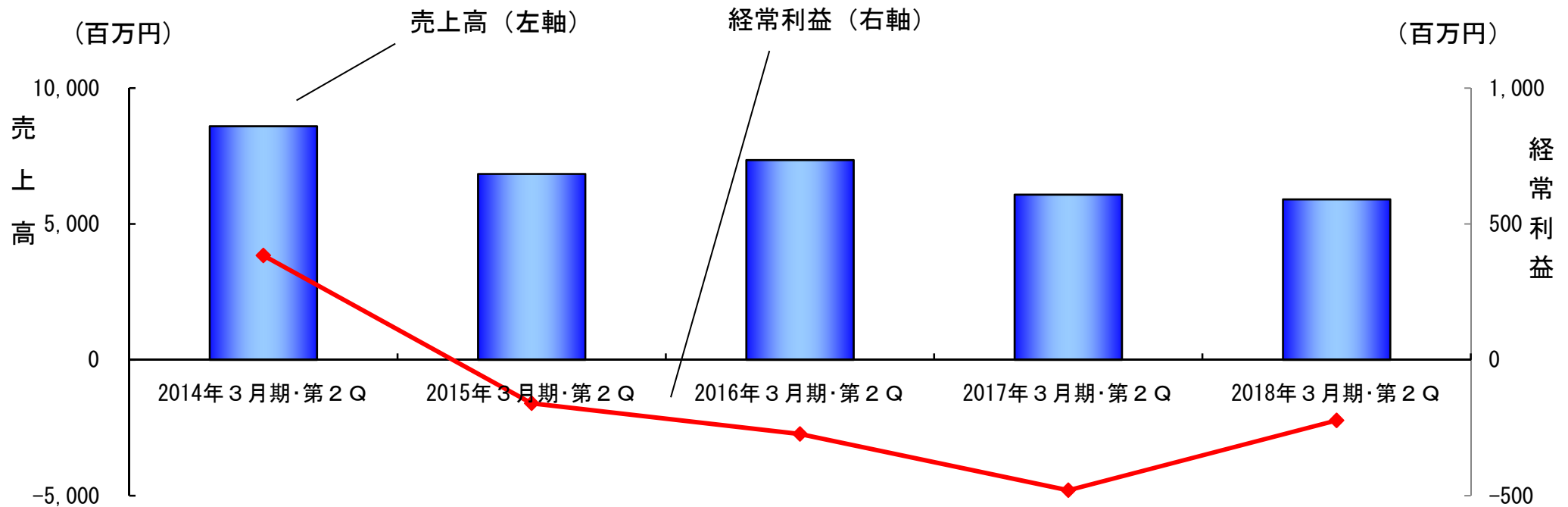
（単位：百万円）

	2017年3月期		2018年3月期計画		増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
送受信信用製品製造事業	10,767	76.6%	11,651	81.5%	883	8.2%
工事事業	3,284	23.4%	2,649	18.5%	▲635	▲19.3%
合計	14,051	-	14,300	-	248	1.8%

第2四半期 個別業績概要

(単位：百万円)

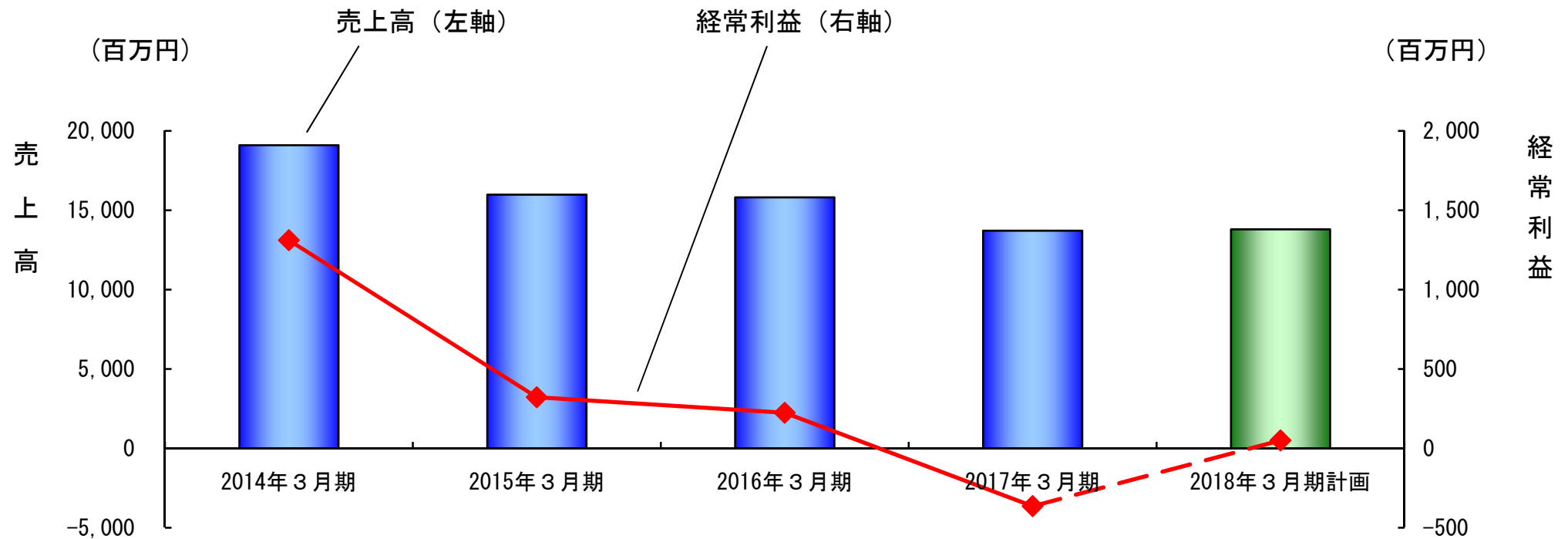
	2017年3月期・第2四半期		2018年3月期・第2四半期		増減額	増減率
		利益率		利益率		
売上高	6,080	-	5,906	-	▲173	▲2.9%
営業利益	▲439	-	▲226	-	213	-
経常利益	▲480	-	▲223	-	256	-
四半期純利益	▲360	-	▲243	-	116	-



個別業績予想

(単位：百万円)

	2017年3月期		2018年3月期計画		増減額	増減率
		利益率		利益率		
売上高	13,715	-	13,800	-	84	0.6%
営業利益	▲306	▲2.2%	50	0.4%	356	▲116.3%
経常利益	▲364	▲2.7%	50	0.4%	414	▲113.7%
当期純利益	▲1,490	▲10.9%	10	0.1%	1,500	▲100.7%



本資料は、2017年11月2日現在の当社（連結子会社を含む）の「将来予想に関する記述」に該当する情報が記載されています。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報を基礎とした判断及び仮定に基づいております。判断や仮定に内在する不確定性及び今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績と大きく異なる可能性があります。当社グループは、本資料公表の日付後において、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。投資家の皆様におかれましては、金融商品取引法に基づく今後の提出書類及びその他の当社の行う開示をご参照下さい。なお、上記の不確定性及び変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、当社の四半期報告書等にも記載されていますのでご参照下さい。

- ・ 当社グループが事業展開している放送及び通信の分野での経済、市場環境の変化、技術革新等の外的な要因
- ・ 斯業界において競争の更なる激化や長期化が業績に影響を及ぼす可能性
- ・ 原材料市況の悪化により原材料、部品等の価格上昇による利益率悪化の可能性
- ・ 為替レートの変動によって業績に影響を及ぼす可能性
- ・ 大規模なリコールや製造物責任賠償につながるような製品の欠陥の可能性
- ・ 知的財産権を適切に保護できない場合、他の第三者が当社の技術等を使用して、当社グループの市場における競争力を弱める可能性
- ・ 自然災害(地震、台風)等大規模災害の発生により、人的・物的被害や物流機能の麻痺、インフラ機能断絶等が生じ生産拠点の操業停止等重大な影響を及ぼす可能性

